

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語の語彙・文法	
科目基礎情報							
科目番号	1194201			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教養			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	前期PRIMARY TRAINER FOR THE TOEIC L&R TEST (センゲージ) 後期 SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE (金星堂) 通年: TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ (朝日新聞出版)						
担当教員	藤井 浩美,小笠原 麻衣子						
到達目標							
1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 2.授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を理解し、運用できるようになる。 4.TOEICテストにおいて、350～500点以上を獲得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	TOEICの出題傾向、出題形式を把握し、解答時間も考慮しながら適切な対応ができる。			TOEICの出題傾向を把握し、各パートの問題形式に対応できる。		TOEICの出題傾向を把握しておらず、各パートの問題形式に対応できない。	
到達目標2	授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の90%以上を暗記し、正しく運用できる。			授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の60%程度を暗記し、ほぼ正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の暗記が60%未満で運用力が低い。	
到達目標3	授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を90%以上理解し、正しく運用できる。			授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を60%程度理解し、ほぼ正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文の理解が60%未満で運用力が低い。	
到達目標4	TOEICテストにおいて、500点以上を獲得した。			TOEICテストにおいて、400点以上を獲得した。		TOEICスコアが300点以下である。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	TOEIC L&R の実践形式の問題演習を通して語彙力、文法力、聴解力、読解力を総合的に向上させ、500点のTOEICスコア達成を目指す。また、単語・熟語集を用いて、単語や熟語を暗記し、適切に運用できるようになる。						
授業の進め方・方法	【授業時間60時間】						
注意点	小テストの評価の一部に、今年度中のTOEICテストの試験結果を反映させるので、必ず受験すること。前期中間試験は実施しない。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業の目的、到達目標、学習方法を理解する。学習前のレベルチェック。		
		2週	Unit 1		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		3週	Unit 2		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		4週	Unit 3		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		5週	Unit 4		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		6週	Unit 5		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		7週	Unit 6		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		8週	まとめと復習		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
	2ndQ	9週	TOEIC Mini Test		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		10週	Unit 7		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		11週	Unit 8		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		12週	Unit 9		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		
		13週	Unit 10		各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。		

後期		14週	Unit 11	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		15週	Unit 12	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		16週	テスト返却	
	3rdQ	1週	オリエンテーション	自己紹介、教科書の使い方説明、後期の目標設定
		2週	Unit 1	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 旅行の場面におけるTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 名詞について理解を深める。
		3週	Unit 2,3	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 外食やメディアに関するTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 形容詞、副詞について理解を深める。
		4週	Unit 4	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. エンターテインメントの場面におけるTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 時制について理解を深める。
		5週	Unit 5	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 買い物の場面におけるTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 主語と動詞について理解を深める。
		6週	Unit 6	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 顧客との取引や求人、採用に関するTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 受動態、動名詞、不定詞について理解を深める。
		7週	Unit 7	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 人事に関するTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 代名詞について理解を深める。
		8週	Unit 8	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2. 交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	4thQ	9週	後期中間試験	
		10週	Unit 9	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 広告、宣伝に関するTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 比較について理解を深める。
		11週	Unit 10	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 会議の場面におけるTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 前置詞について理解を深める。
		12週	Unit 11	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 予算や費用に関するTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 接続詞について理解を深める。
		13週	Unit 12	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. オフィスでの場面におけるTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 前置詞と接続詞の違いについて理解を深める。
		14週	Unit 13	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 日常生活に関するTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。

		15週	Unit 14	各ユニットの問題演習を通して、 1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。 2. 営業、販売促進、講習会に関するTOEIC頻出語彙、表現を理解し、運用できるようになる。 3. 語彙の結びつきについて理解を深める。
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
						前6,前7,前8,前10,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	小テスト	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	15	25	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	15	25	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0